

実践発表のみどころ(主張点)

実践発表1 天草管内小中学校の実践

小学4年生 表現「元気のおまもり」

嘉島町立嘉島東小学校 清水貴司教諭

ICTを活用して作品の経過を記録していくことで、作品に込めた想いを自分自身でふり返りやすくしています。また、「主体的につくり出す活動を支える造形教育」を可能にする学級経営について取り組みました。



小学4年生 鑑賞「ポーズのひみつ」

上天草市立上小学校 森田大介教諭

多様性を認め合うための形や色などに着目した見方や考え方を豊かにする3つの工夫(獲得、交流、受容)を実践しました。また、それらを支える学級経営にも力を入れました。



中学1年生 表現「手でみる造形」

苓北町立苓北中学校 坂本進教諭

生徒が触ったときに感じるよさや気持ちを想像し、全体の形状や表面の状態をどのようにするかを試行錯誤しながらアイデアを練り上げて作品の制作をしました。



中学1年生 鑑賞「風神雷神図屏風」

～ 受け継がれる日本の美～

天草市立本渡東中学校 小森ゆきえ教諭

400年以上の時を経てもなお、風神雷神図屏風のよさをみつけていく生徒の姿や互いの考えから多角的な視点を持ち鑑賞を深めていきました。



実践発表2 天草工業高校デジタルアートの島創造事業の実践

熊本県立天草工業高等学校 中村誠也教諭

コンテンツ産業で需要の高い「CGデザイナー」を育てるため、プロのCGデザイナーが講師を行う人材育成として、行政の天草市、学校の天草工業高校、民間企業の株式会社『ORENDA WORLD』の3者が協力することで、情報技術科に2024年度から「CG系列」が新設されました。CG系列では、卒業後の就職を目指しており、放課後はCG部として部活動においてもデッサンやCG制作を行っています。

